



One for
group,
Group for
one.

1人はグループのためにグループは一丸となる。

世界に、ひとつ。

One for group, Group for one.

日本のモノづくりを支え、
誠実に挑戦し続ける企業がある。
たゆまぬ努力で磨き続けてきた技術がある。
小さくとも光り輝く企業が大きな志のもと一つとなり、
世界をリードするモノづくりチームとなる。
そのために、一人ひとりが、人生を共にする仲間として、
お互いを認め合い、助け合う。
一人ひとりが、ともに壁を乗り越える存在として、
熱い想いを紡ぎ合い、成長し合う。
未来を創る、世界に一つの技術を。
人々に夢を届ける、世界に一つの存在へ。
私たちは「ONE GROUP」となります。



MESSAGE

メッセージ

社員の幸福を追求することが、 新しい製造業のあり方になる。

ONE GROUPが最も大切にしているのは、社員の幸福です。
中小企業が連携することで、
単一業界への依存を避けた多角的な経営を実現し、
各社の安定と、社員の安心できる生活を守っています。
また、グループ内でモノづくりの技術や経験を共有し合うことで、
高度な人材育成と技術継承が可能になりました。
社員一人ひとりの成長は、お客様への提供価値を高め、
企業の社会的価値を押し上げます。
そして、その成長はビジネスパートナーや地域社会にも波及していきます。
私たちは、関わるすべてのステークホルダーと共に、
持続的な成長と、
物心両面の幸福の実現を目指します。



**ONE
GROUP**

ONE GROUP 代表

ONE GROUP 株式会社

代表取締役社長 田中 文彦



MISSION

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
お客様と社会の進歩発展に貢献すること。

私たち ONE GROUP は、
人が幸せになるために会社があると考えています。
経営の目的は、全従業員の「物心両面の幸福」を追求し、
同時に、お客様や社会の発展に貢献することにあります。
私たちが目指す「幸福」とは、単なる経済的安定だけではありません。
仕事を通じて自分自身の可能性を広げ、
生きがいや働きがいといった心の豊かさを実感できることこそ、
真の幸福だと考えています。
そして、常に技術を磨き、優れた製品を世の中に送り出すことで、
お客様の期待に応え、社会の進歩と福祉にも貢献していきます。
こうした使命を果たし続けるために、
私たちは自らの力で ONE GROUP を成長させ、
社員一人ひとりが将来を安心して託せる、信頼される企業であり続けます。

VISION

ビジョン

理念でつながり、小さな力を束ねて、
大きな未来を創る。

私たち ONE GROUP は、理念と志でつながる中小製造業の連合体として、
「世界一の中小企業連合」の実現を目指します。
まずはファーストステップとして10人の経営者を育成し、
10の事業を創り、グループ連結売上高100億円の達成を通じて、
一般市場への上場を実現します。
さらに次のステップとして10年後には、100人の経営者を輩出し、
100の事業を展開し、グループ全体で1,000億円規模の売上高を目指す、
唯一無二の成長モデルを確立します。
理念（フィロソフィ）で組織を束ね、透明で公正な経営により、
“小さな力が大きな未来を動かす”ことを証明していきます。



「人として、どう生きるか。企業として、どうあるべきか。」

ONEフィロソフィは、私たちが掲げる経営理念を実現するための行動指針です。

それはまた、一人ひとりが素晴らしい人生を送るための考え方でもあります。

「人として何が正しいか」「何のために働くのか」——

この根源的な問いに正面から向き合い、生まれた哲学です。

フィロソフィには、以下の4つの要素があります。



人生の真理

一人ひとりがより良く生きるための、
普遍的な原則

01



社格を形づくる考え方

企業も人格を持ち、社会から信頼と尊敬を得るべき
存在であるという思想

02



03



企業の行動規範

組織として守るべきルール・モラル

04



高い目標を達成するための考え方

目的を明確にし、
その達成のために必要な姿勢・行動

このフィロソフィは、知識として理解するだけでなく、
日々の仕事や生活において実践することが何よりも重要です。
その積み重ねが人間性を磨き、組織全体の質を高めていきます。
志を共有する仲間たちとともに、明るい未来を切り拓いていきます。

HISTORY

沿革

「挑戦の軌跡が、未来をつくる。」

1933

創業者 田中栄蔵が(株)オージックの前身となる
中井歯切工場を創業

1952

松下電器産業(株) (現パナソニック(株)) の子会社として
(株)大阪歯車工作所を設立 (株)オージック

1976

(株)大阪歯車工作所の販売会社として、
東大阪市菱江に日本標準歯車販売(株) (現 ONE GROUP(株)) を設立し、
歯車の販売を開始

1992

(株)大阪歯車工作所を(株)オージックへ商号変更

2012

韓国法人 Haewon ogic Co Ltd., に共同出資

2013

イセキテック(株) (現(株)オージック) のグループ化
台湾台中市に独資企業江菱股份有限公司 (略称: JLTA) を設立

2017

(株)鍛冶屋 (現(株)オージック) のグループ化

2019

(株)セイエン、(株)三翔精工のグループ化
日本標準歯車販売(株)からオージックグループ(株)へ商号変更

2020

(株)オージックのグループ化
美原精工(株) (現(株)オージック)
(株)フジタイトのグループ化

2021

東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場

2022

広進工業(株)のグループ化

2023

(株)オイダ製作所、欧亿达机械零件(青島) 有限公司のグループ化
本社を東大阪市市川俣に移転
オージックグループ(株)から ONE GROUP(株)へ商号変更

2025

(株)気密プロジェクションを設立



東京証券取引
TOKYO PRO Market
市場上場時における打鐘



それぞれのオンリーワンの強みを活かした連合体

日本の中小製造業は、いままさに逆風の中にいます。

深刻な人材難、海外市場における競争力の低下、経営管理機能の不足。

私たちはそんな中小企業を積極的にM&Aによりグループ化を進めています。

そして、『フィロソフィ』と『経営管理システム』を共有し、

企業運営という帆の使い方を共有することで、

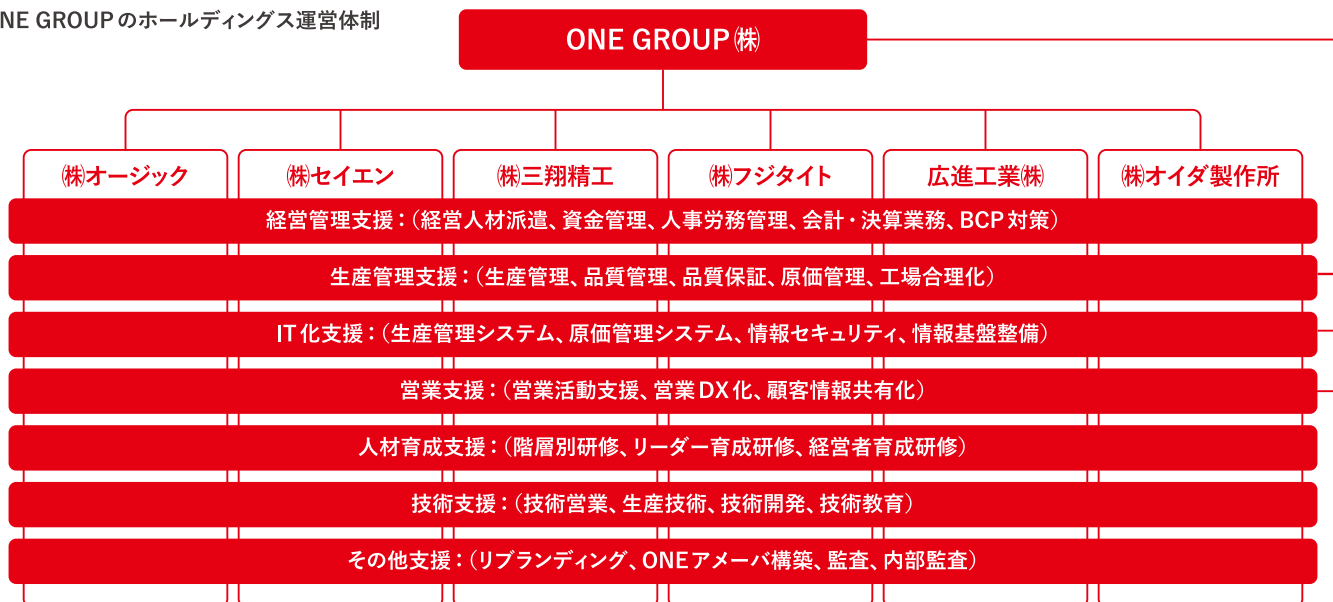
逆風を共に乗り越える同志を増やしているのです。中小製造業同士、

それぞれの強みを活かしたまま、上下関係のないゆるやかな連合体をつくる。

それが、ONE GROUPのあり方です。



ONE GROUPのホールディングス運営体制



ONE SYMBOL に込めた想い

各社の技術と知能が一つに集まり、不可能を可能へと突き進む一つの矢印となる。No.1 をシンボルに掲げ、日本のものづくりを世界へと発信する。赤いサークルは日の丸でもあり、各社の個性を表現するキャンパスにもなる。変化を恐れない新しいシンボルマークです。

**新時代のモノづくり企業に必要なのは、
強みを磨きあえる同志です。**





グループ化戦略 (M&A) に関する方針

世界一の中小企業連合を創る。

「ONEフィロソフィ×上場企業×中小企業連合」の掛け算で、
理念・ONEフィロソフィをグループ求心力とし、
ガラス張り経営で安定的に継続成長でき、
小さな企業の集まりが大きな力になり、
グループ全社員の雇用の安定と成長を実現する
唯一無二のビジネスモデルを創ります。

日本の中小製造業は今、深刻な人材不足や競争力の低下、
経営者の高齢化という構造課題に直面しています。

ONE GROUPは、こうした現実を乗り越えるために、
“理念”と“経営の仕組み”を共有する中小企業連合を築いてきました。
単なる買収ではなく、「仲間」として迎え入れ、ともに経営を支え合う。
それが私たちのM&Aのあり方です。

2013年のイセキテックを皮切りに、
セイエン・鍛冶屋・三翔精工・美原精工・フジタイト・広進工業・オイダ製作所と、
これまでに8社をグループに迎え、
多様な業種・地域に展開する中小企業連合となりました。

それぞれの得意分野を活かしながら、事業・顧客・地域を分散させることで、
単独では得られない経営の安定性と成長性を実現しています。

ONE GROUPのM&Aは、選ばれなければ成り立ちません。
譲渡企業にとって「社員を安心して託せる存在」であることが、何より重要です。
その信頼に応えるため、私たちは上場企業としてのガバナンスと、
理念に基づいた透明な経営を貫いています。

私たちはこれからも、志を同じくする仲間とともに、
日本の中小製造業の未来をつくっていきます。





社名	ONE GROUP 株式会社 (ONE GROUP CORP.)
本社所在地	大阪府東大阪市川俣一丁目1番41号 ルクスビル6階 TEL: 06-6787-1818 / FAX: 06-6787-1828
資本金	1,000万円
事業内容	中小製造業連合体「ONE GROUP」の統括・経営支援機能の提供
役員構成	【取締役】 田中 文彦 代表取締役社長 大井 実 取締役 経営管理本部長 片山 尚人 取締役 (常勤監査等委員) 佐野 元洋 社外取締役 (監査等委員) 森田 博 社外取締役 (監査等委員) 【執行役員】 山本 秀雄 執行役員 兼 株式会社オージック 代表取締役社長 池滝 重隆 執行役員 兼 株式会社オージック 取締役副社長 坂上 知之 執行役員 兼 株式会社オージック 取締役 新井 文武 執行役員 兼 株式会社セイエン 代表取締役社長 松村 浩一郎 執行役員 兼 株式会社三翔精工 代表取締役社長 山川 晋 執行役員 兼 株式会社フジタイト 代表取締役社長 川崎 悦史 執行役員 兼 広進工業株式会社 代表取締役社長 小濱 英威 執行役員 兼 株式会社オイダ製作所 代表取締役社長 上妻 敏広 執行役員 IT戦略本部長 水戸 祥登 執行役員 技術開発本部長 兼 金属加工研究所 所長

グループの事業セグメントや業種

事業領域／技術範囲 (業種)

歯車・ボールねじ設計製造、パイプ塑性接合加工、
精密切削加工 (鍛造品・鋳造品・丸棒)、装置組立製造

顧客業界

工作機械、自動車、農業機械、産業印刷機、ロボット、
半導体製造装置、真空機器、分析機器、航空機、
搬送装置、ポンプ、変減速機、一般産業機械

グループの強み

- 01 フィロソフィに基づく経営文化
- 02 ノウハウ共有・技術連携による相乗効果
- 03 グループ間シナジーで新規事業創出
- 04 M&Aで成長する“進化型”グループモデル
- 05 上場会社としての信頼と透明性

未来ビジョン

2036年
ビジョン

100 人の
経営者輩出

100 事業

売上 1,000 億円

直近計画
(2026年6月期)

10 人の
経営者

10 事業

売上 100 億円

ONE GROUP のいま

グループ企業

10 社

・ 江菱股份有限公司 (台湾 / 株オージック 海外子会社)
・ 株式会社気密プロジェクション (株セイエン 子会社)
・ 欧亿达机械零件 (青岛) 有限公司 (中国 / 株オイダ製作所 海外子会社) を含む

社員数
(連結)

545 人

売上高
(連結)

68 億円

※2025年6月期



**ONE
GROUP**

オーシックスグループ株式会社





株式会社オージック

社名 株式会社オージック
所在地 【本社・東大阪事業所】 〒578-0984 大阪府東大阪市菱江一丁目15番33号
TEL: 072-965-1011 / FAX: 072-965-4192
【美原事業所】 〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通2-2-82
TEL: 072-362-2266 / FAX: 072-362-2268
【横浜事務所】 〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4312リヴィエールKYK 302
TEL: 045-507-8811 / FAX: 045-507-8722
代表者 代表取締役社長 山本秀雄
事業内容 各種精密ギヤの製造販売、精密ボールネジの製造販売、精密機械加工全般
資本金 6,500万円
設立 1952年4月
URL <https://www.ogic.co.jp/>
海外子会社 江菱股份有限公司(台湾)
事業内容 当社製品の営業代行



会社HPは
こちらから

BRAND SLOGAN

金属加工で社会を支える存在に。

共に輝き、世界を動かす。

私たちは、手の切れる尖った製品づくりに誇りを持っています。

設計図には描けないもの。

「生まれ」も「育ち」も大切な製品づくり。

私たちの技術は、あらゆる産業で活躍しています。

お客様と共に技術を創造し「ありがとう」の数で社会へ貢献していきます。

そして、世界中に必要とされる企業となり、パートナー(顧客・取引先・家族や仲間)を、世界中に増やすことです。

私たちは、「共に」輝き、「世界」を動かします

設計図を超えた未来を、カタチに

1/1000 ミリ以下の世界が、性能に大きな違いをもたらす世界を実現するため、

日々進化する技術を継続し、卓越した

金属加工技術で「形」だけではなく「価値」を創造しています。

ただの製品づくりにとどまりません。

その先にあるのは、あらゆる産業の未来。

お客様の課題をともに解決し、社会を支え存在し続けることが、私たちの使命です。



代表取締役社長

山本秀雄

事業領域

工作機械



取扱製品

主軸、テーブル、ユニバーサルヘッド

自動車



取扱製品

変速機やデフ、エンジン機構の試作開発

各種産業機械



取扱製品

真空ポンプ、ロボット、印刷機

造船



取扱製品

サイドスラスター、エンジン

建設機械



取扱製品

トランスミッション等

航空宇宙



取扱製品

ヘリコプター、発電機、エンジンギヤー

インフラ設備



取扱製品

橋梁、免震装置、ダム開閉

平行軸歯車



カービック



ベベルギヤ



ウォームギヤ



ハイポイド



内歯車



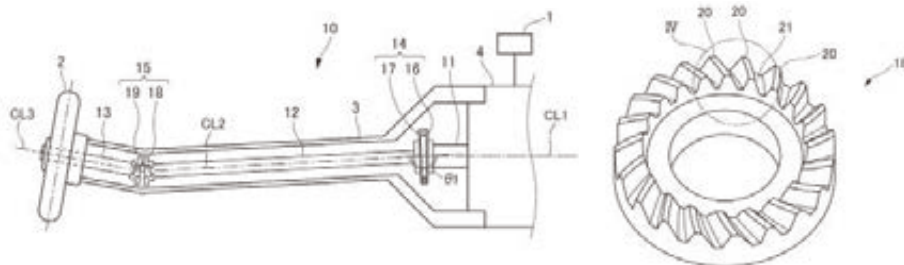
ボールねじ



実用新案

研削スピンドル 実願 2025-829

軸角 150 度以上であり、且つ砥石を用いて研削された歯面を持つφ30 以下の 1:1 の等速動力伝達用かさ歯車



当社製品はすべて駆動部品です。歯車やボールネジは、部品同士がかみ合って機能する部品です。単体では評価できない、構造部品の中でも最も難しいものとされており、「生まれも育ちも重要」と言われる所以です。これまで多くの業界と取引し、さまざまな課題を解決してきました。培ってきた技術で、今後もお客様のニーズに応えてまいります。目立つことより役立つことが私たちの仕事です。

ギヤ／ボールねじの
見積・技術相談はこちら
<https://www.ogic.co.jp/contact/>



ONE GROUP

seien



株式会社セイエン

社名 株式会社セイエン
所在地 〒737-1217 広島県呉市音戸町渡子一丁目5番5号
TEL: 0823-51-2644 / FAX: 0823-51-2671
代表者 代表取締役社長 新井文武
事業内容 自動車及び機械用金属配管部品の製造
資本金 500万円
設立 1961年4月
URL <http://seien21.com/>
子会社 株式会社気密プロジェクト
事業内容 溶接技術のプロモーション、企画、クリエイティブ制作および運営
金属加工技術の広報PR活動全般など各種マーケティング業務全般



会社HPは
こちらから

BRAND SLOGAN

つなぐ技術を継ぐ企業

歴史と伝説が息づく技術の街

海とともに発展してきた広島県呉市。戦艦大和が建造されたことで知られ、長年にわたりパイプ加工一筋で歩んできました。
平安時代には平清盛が一日で音戸の瀬戸を開削した伝説も残るなど、歴史と伝説に彩られた街です。
その豊かな背景の中で、確かな技術が長年にわたり受け継がれてきました。

独自技術で支える日本のモノづくり

この技術の街で創業した当社は、自動車や機械用の金属配管部品を手掛け、パイプ加工一筋で63年目を迎えます。
極小の曲率でも割けることのない独自の曲げ技術により、限られたスペースでも効率的な配管が可能です。
部品同士をつなぐパイプに安全への願いと技術を込め、私たちは「私たちにしかできない技術」で日本のモノづくりを支え続けています。



代表取締役社長

新井文武

事業領域

自動車



取扱製品



ユニオンパイプ

エンジンと各部パイプのつなぎ役
導入例：スズキ社のエンジンまわり

取扱製品



ウォーターリターンパイプ

ラジエーターへ冷却水を戻す役目
導入例：クボタ社の農機エンジン

取扱製品



ジョイントウォーターホース

冷却水を2方向に分けて送る役目
導入例：ダイハツ社のラジエーター



独自技術による外径寸法公差 20 μ m の極小R曲げパイプ加工は、エンジンルームや冷却配管など、限られたスペースで周辺に干渉物がある場合に最短コースで配管が可能となることで省スペース化と材料削減を両立し「軽量化とコスト削減」を同時に実現します。

自社技術を広めるマーケティング会社を立ち上げました

溶接の技術で
CO₂ 排出量を
削減する挑戦

CO₂

商号

株式会社 気密プロジェクション

事業内容

溶接技術のプロモーション、企画、クリエイティブ制作および運営
金属加工技術の広域PR活動全般など各種マーケティング業務全般

株式会社 気密プロジェクション

KIMITSU PROJECTION Inc.

<https://kimitsupw.com/>



R曲げパイプ.com

<https://ogic-pipe.com/>



ONE GROUP

Sansyo



株式会社三翔精工

社名 株式会社三翔精工
所在地 【本社事務所】 〒578-0984 大阪府東大阪市菱江1丁目15番33号
TEL: 072-965-1011 (代) / FAX: 072-965-4192
【鹿児島工場】 〒899-5116 鹿児島県霧島市隼人町内字野屋敷2179番地
TEL: 0995-43-2811 / FAX: 0995-43-2812
E-mail: info@kir717238.kir.jp
代表者 代表取締役社長 松村浩一郎
事業内容 光変調器、通信衛星部品、海底ケーブル接続ケース、
携帯電話地上基地局アンテナ部品等の加工
資本金 1,000万円
設立 1999年6月
URL <https://www.sansyo-seiko.co.jp/>



会社HPは
こちらから

BRAND SLOGAN

微細切削加工技術をベースに 高品質を追求した量産方式で 創造的な未来を切り拓く

～共に輝く仲間達と～

創造的な未来への挑戦

SANSYOでは、働くことに喜びと達成感を見出し、創造的な未来を築くことをミッションとしています。仕事を通じて個人のモチベーション向上を図り、探求心を育みながら次世代の開発に挑戦します。この姿勢こそが私たちの原動力であり、成長し続ける企業文化の基盤です。

モノづくりに込める情熱と挑戦

私たちは、モノづくりに「楽しさ」「完璧さ」「探求心」「高い目標」を掲げています。仕事への愛と自信を持ち、完璧を追求することで高品質な製品を生み出します。探求心を持って技術の限界に挑み、新たなビジネスモデルにも貢献。お互いを認め合う環境で自主性を育みながら、製品に生命を宿すようなものづくりを目指します。一見無機質な金属部品の中にも、私たちの情熱と努力が宿っています。



代表取締役社長

松村浩一郎

事業領域

生産用機械器具

*印刷機器



取扱製品



デジタル印刷機用ヘッド

輸送用機械器具

*自動車



取扱製品



コーナーセンサー

情報通信機械器具

*通信機器



取扱製品



光モジュール

その他

和柄アートパネル



極小ルービックキューブ



当社製品分布



精密加工

難削材加工

量産加工

3つの技術と徹底した品質体制により、高品質が求められる自動車・半導体・電子部品・医療機器分野等へ精密加工品を提供しています。またグループ会社（6社）間でのシナジー効果を発揮して、お客様の多様なニーズにお応えしています。私たちは量産品をローコストで作製することを得意としています。



ONE GROUP

FujiTaito



株式会社フジタイト

社名 株式会社フジタイト
所在地 〒776-0001 徳島県吉野川市鴨島町牛島 2322 番地 20
TEL:0883-26-1511/FAX: 0883-26-1515
代表者 代表取締役社長 山川晋
事業内容 自動車部品、工作機械部品、半導体装置部品、
各種センサー（温度・近接・超音波など）、家電部品、医療機器部品、
航空機関連部品などの部品加工
資本金 1,000 万円
設立 1980 年 5 月
URL <https://www.fujitaito.co.jp/>



会社 HP は
こちらから

BRAND SLOGAN

「あたりまえの生活」を 支えるカイシャ

熟練の技を継承する

目指すのは TOP。地域 No.1 のやりがい企業を目指します。
私たちは常に考え、常に笑顔でチャレンジします。
熟練のスペシャリストから、明るくチャレンジ精神旺盛な若者へ、匠の技術を託す。
私たちは約束します。
すべての小さな部品に魂を込めて。
お客さまのニーズにスピード感をもって応えます。
私たちの技術は、小さな子どもたちの遊具から家庭用品、自動車や航空機の一部と
なって、未来へ受け継いでいきます。

「あたりまえの生活」を支えるカイシャ

「あたりまえの生活」を支えるフジタイトは、未来に向けて技術の進化とモノづくりの
本質を大切にしています。たとえ人工知能や無人運転技術が発展しても、製造の根
幹は必ず人の手から始まります。私たちフジタイトの高い技術と幅広い専門知識で
製造された部品が 100 年先の暮らしの中にもあふれていることを願っています。

私たちがつくった製品は、あなたの暮らしのどこかに。



代表取締役社長

山川晋

事業領域

新幹線



取扱製品

特殊ナットはくさび構造により高いゆるみ止め効果があり、電車や新幹線などにも使用されています



ロックナット 3万セット/年間

自動車



取扱製品

車載用のコーナーセンサーに使用されており、自動車などの近接センサーに利用されています



センサーケース 720万個/年間

家電



取扱製品

電気シェーバーの充電端子部品に使用されています



端子ピン 85万個/年間

「NC自動複合施盤」を駆使し、夜間無人運転による24時間生産体制と複合加工技術を用いた工程集約により、最大で月間約60万個の製品を量産することが可能です。

また、複合放盤による工程集約は、製造プロセスを効率化し、無駄を最小限に抑えることで大幅なコストダウンを実現しており、競争力のある価格設定が可能です。

全社員が一丸となってお客様の期待に応えるため、日々努力を重ねています。



ONE GROUP

KOSIN



広進工業株式会社

社名 広進工業株式会社
所在地 〒936-0883 富山県滑川市野町234番地
TEL: 076-475-1197 / FAX: 076-476-0662
代表者 代表取締役社長 川崎悦史
事業内容 自動車部品切削加工、鋳物部品加工、金属精密加工など
資本金 1,000万円
設立 1965年8月
URL <https://kosin-kogyo.jp/>



会社HPは
こちらから

BRAND SLOGAN

金属加工で地域を支える。

～モノづくりの基礎を強固に“広”げ、 新しい挑戦へ“進”む～

地域とともに歩む信頼の企業

広進工業は1965年に富山県滑川市で創業し、金属加工の分野で半世紀以上にわたり確固たる地位を築いてきました。地域社会との結びつきを大切に、長年培った信頼は私たちの誇りであり、お客様にとっての安心材料となっています。社名には「広がりと進展、そして未来への進む姿勢」が込められています。

謙虚な姿勢と未来への挑戦

私たちが仕事で大切にしているのはお客様の立場にたつ「謙虚さ」です。そして、未来に向け、若者には大胆に挑戦する心を伝え、製品だけでなく信頼と誇りを継承していく使命感を持ち続けます。広進工業はこれからも地域社会と協力し、確かな技術力をもってお客様と共に歩んでいきます。



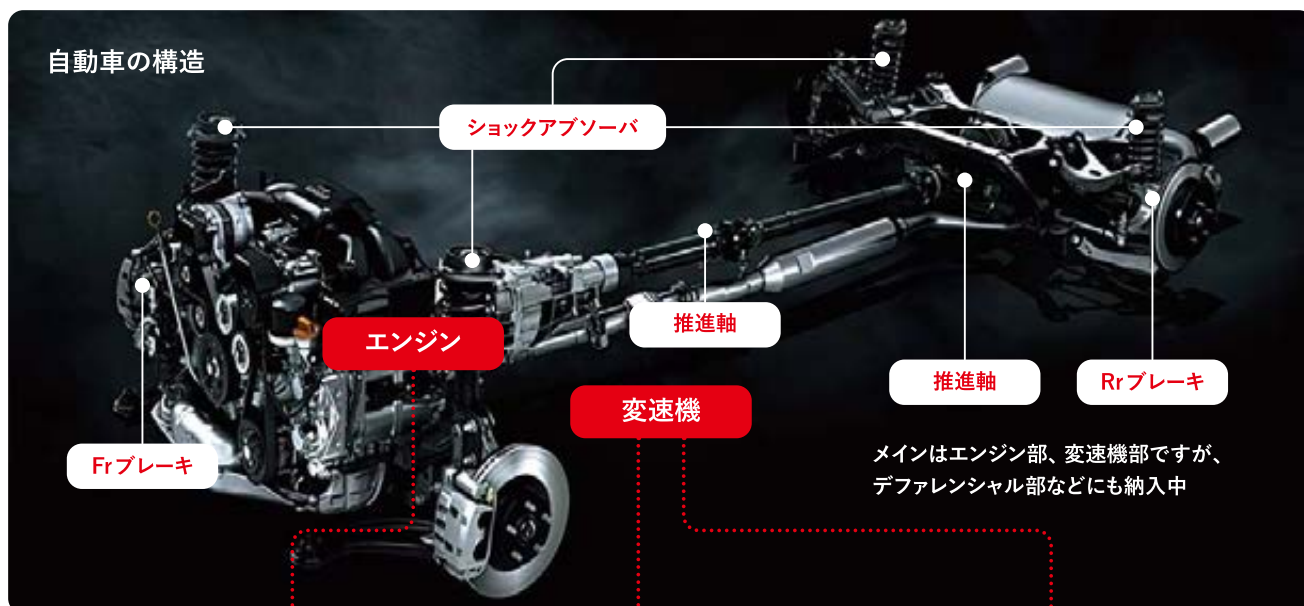
代表取締役社長

川崎悦史

事業領域

自動車

自動車の構造



建設機械



取扱製品
油圧機器等

鉄道



取扱製品
集電靴(コレクタシュー)等

工作機械



取扱製品
ATCアーム等



精密加工例①ステンレス材



精密加工例②黄銅材料

「鋳鉄材の切削加工」を得意とし、特注から量産品まで創業から50年以上、自動車業界で鍛えられた品質保証体制やトヨタ生産方式による「モノづくり文化」を土台とし、100年企業になるべく、皆で日々、新しい事にも積極的にチャレンジしています。



OIDA
FACTORY

株式会社オイダ製作所

社名 株式会社オイダ製作所
所在地 【本社】 〒503-2201 岐阜県大垣市草道島町13番地
TEL: 0584-72-2181 / FAX: 0584-72-2184
【池田工場】 〒503-2412 岐阜県揖斐郡池田町砂畑字村前筋61番地1
TEL: 0585-35-7121 / FAX: 0585-35-7122
【モノラボ】 〒503-2426 岐阜県揖斐郡池田町八幡3018
TEL: 0585-44-1511 / FAX: 0585-44-1512
代表者 代表取締役社長 小濱英威
事業内容 汎用エンジン部品、船用エンジン部品、産業機械部品、農業機械部品、
航空機部品、自動車部品、工作機械部品等の部品加工
資本金 1,000万円
設立 1953年1月
URL <http://www.oida.co.jp>
海外子会社 欧亿达机械零件(青岛)有限公司(中国)
事業内容 汎用エンジン部品・工作機械部品等の部品加工



会社HPは
こちらから

BRAND SLOGAN

お困りごとを
「何とかする会社」として
未来を支える

～金属加工部品で信頼を形に～

柔軟な製造サービスと人材育成で革新を追求

当社は試作品から中量産、材料調達から加工・組立まで一貫した製造サービスを提供し、大企業にはない柔軟性でお客様のニーズに応えます。従来の枠組みにとらわれない発想で製品やサービスを進化させ、品質向上と効率化にもスピード感を持って対応。常に「改善」を掲げ、お客様の期待を超える価値提供を目指しています。

地域社会への貢献と持続可能な未来への挑戦

地域社会への貢献にも積極的に取り組み、環境保護や地域の活性化に尽力。「何とかする会社」としてお客様の困難な課題に挑戦し解決策を提供します。次の100年に向けて、持続可能な未来を築くため、革新と社会貢献を大切にしながらお客様とともに歩むパートナーであり続けます。



代表取締役社長

小濱英威

事業領域

汎用エンジン部品



船舶エンジン部品



シリンダーヘッド



取扱製品

エンジンのシリンダー内部で燃焼を行うための燃焼室を形成する部品で、点火プラグや吸排気バルブが取り付けく。

ハイドロリックベース



取扱製品

燃料噴射ポンプの構成部品であり、燃焼室内に噴射する燃料を高圧で送り出す機能を有します。

バルンサー CMP



取扱製品

アンバランスなシャフトを有し、クランクシャフトの回転で起振力を発生させ、エンジンの振動を相殺する。

製造工程 打合せから設計、製造、検査にいたるまで、徹底した管理体制のもと、常に確かな製品づくりを行っています。

受注・打合せ

治具・工具
設計・製作

機械加工

仕上げ・組立

検査

出荷

各種製品で培ったノウハウを活かし、綿密な事前準備で品質の安全を図る

製品を機械生産するために必要となる治具や工具は、自社で設計し制作

最新鋭の機械による高速・高精度生産。設備投資と技能教育に積極的

加工した製品を手作業で組み立てユニット製品として出荷

仕上がった製品を数値的に検査。厳しい基準値が高い品質を保証

確かな製品をお客様のもとへ。品別・数量などはコンピュータ管理

オリジナルの治具・工具



製品の90%以上について、独自の治具を設計・制作

ロボット付マシニングセンター



1台のロボットが6台のマシニングセンターの間を走り、次々に製品を完成

仕上げ・組立



個々の部品を組み合わせて仕上げるユニット製品化への取り組みを実施

